


サンフィールド・インターネット

アイシロン スケールアウト NASが支える理想のクラウドサービス オールインワンパッケージで提供する「わたらせクラウド」

— 地域ISPだからこそ実現できた中堅・中小企業向けのクラウドサーバサービス



株式会社 サンフィールド・インターネット

最短3営業日でご利用開始！
仮想デスクトップ検証環境
1営業日30日間 197,900円(税別)

お客様窓口・サポートセンター
0120-55-0520

月額 1,575円
月額 1,890円

株式会社サンフィールド・インターネット ホームページ

アプリケーション

中堅・中小企業を対象としたクラウドサーバサービス「わたらせクラウド」の提供を実現したスケールアウト NAS ソリューション

課題

クラウドコンピューティングの普及にともない、企業でもPCの運用コストを削減し、セキュリティなどの強化を実現できる「仮想デスクトップ」への関心が高まっています。株式会社サンフィールド・インターネットでは、先進的な仮想化技術を活用した「わたらせクラウド」のサービスのひとつとして「わたらせクラウドデスクトップ」を提供しています。同社が目指す性能を備えるクラウドサービス基盤を実現するためには、先進的なストレージを用いた仮想化のノウハウが不可欠でした。

Isilon IQ のメリット

株式会社サンフィールド・インターネットは、以下の理由により Isilon IQ を採用しました。

- 不具合がほとんど発生しない高い信頼性と可用性
- 高い安定性によるストレージ運用管理コストの削減
- サービスの成長に合わせた、無停止増設とメンテナンス
- 仮想環境のメリットを十分に生かすシンプルなストレージ管理

IT企業グループが提供する

地方発の理想のクラウドサービス

株式会社サンフィールド・インターネット(以下、サンフィールド・インターネット)は、自動車部品メーカーの「ミツバ」を母体としたグループ企業として、群馬・栃木・埼玉などで、インターネットサービス事業、ウェブサイト制作、レンタルサーバ事業、SEO・SEM事業など、多彩なビジネスを展開する地域ISPです。そのビジネスのひとつとして、先進的な仮想化技術を活用したクラウドサーバサービス「わたらせクラウド」を提供しています。

同社は、「わたらせクラウドホスティング」、「わたらせクラウドデスクトップ」などのクラウドサービスに加え、運用管理サービスを提供することで、ユーザ企業がワンストップでクラウドサービスを利用できる環境を構築しています。また、実現性のある検証環境を準備し、顧客が仮想環境を本格導入するための「仮想デスクトップ検証環境」というユニークなサービスも提供しています。

株式会社サンフィールド・インターネット 技術部の谷藤和久氏は、「さまざまなメリットのある仮想デスクトップの導入にあたっては、サイジングや機器の構成、サーバの仕様などを決めるための検証作業が不可欠です。そのためには実環境と同等のサーバやストレージが必要ですが、企業が短期間だけ検証環境を準備することは難しいのが実情です。そこで、最低利用期間が30日のオールインワンパッケージの検証環境を用意しました」と、サービス提供の背景を説明します。

サンフィールド・インターネットが提供する「仮想デスクトップ検証環境」には、検証用ホスティング、仮想デスクトップ、管理サーバ、インターネット接続、ファイアウォール、VMwareViewの検証に必要なWindows Server OSのライセンスなどが含まれています。必要な機材とライセンスがすべて用意されているため、企業の情報部門の担当者はすぐに仮想デスクトップの検証作業に取りかかることが可能です。



株式会社サンフィールド・インターネット
技術部
谷藤和久氏

すべてのレイヤーを賄う自社リソースが ビジネスクラウド品質を可能にした

「わたらせクラウド」が提供するさまざまなサービスを実現するには、15年にわたり培われてきたサンフィールド・インターネットの地域ISPとしての技術力に加えて、グループ企業との密接な連携も不可欠でした。システムインテグレーターの「両毛システムズ」、自前のIDC設備を所有する「両毛データセンター」、ヘルプデスク事業などを行う「両毛ビジネスサポート」がしっかりと連携することによって、迅速できめの細やかなサービスの提供を実現しています。

現在は情報爆発 (Information explosion) といわれていますが、クラウドサービスにおいてもストレージ機器の役割はますます重要になってきています。そこで、ISPとして機器の選定にはひととき厳しい選択眼を持つサンフィールド・インターネットが「わたらせクラウド」のストレージとして採用したのがアイシロンのスケールアウト NAS ソリューションです。

谷藤氏は、アイシロンを採用した理由として、「当初はストレージ仮想化ソフトの利用を検討していました。しかし、商用サービスとして利用するには、ディスクI/Oを考慮した設計の難易度、拡張性やパフォーマンスに不満が残りました。クラウドサービスは、サービス提供を開始してしまえば、ストレージを止めることはできません。顧客企業の増大していくデータに対応するためには、システムを稼働したまま増設やメンテナンスに柔軟かつ迅速に対応できるストレージシステムが不可欠です。そして、必要な要件をすべて満たし、十分な信頼性とパフォーマンスを持っている製品は、アイシロンのスケールアウト NAS ソリューションだけでした。2年前からグループ会社の両毛データセンターで Isilon IQ がトラブルなく稼働していることもあり、わたらせクラウドのストレージは、アイシロン以外にありませんでした」と言い切ります。

データの増加に対応するためにはストレージの増設が必要になりますが、FC-SANではストレージ増設の際にコントローラを停止する必要があります。いち早くスケールアウトNASに取り組んできたアイシロンであれば、無停止でストレージを増設することが可能です。

また、業界標準の仮想化ソフトといえるVMwareを利用する場合、仮想マシンの増加に応じたサーバの増設に合わせて、ストレージの再設計が必要になります。同じスケールアウト型のストレージであるアイシロンがVMwareとの親和性

が高い点も選択の理由の一つです。アイシロンであれば、LUN単位での設計が不要で、各ノードへの負荷は自動的に分散されるので、増設後のパフォーマンスの再設計も必要ありません。

ストレージ容量とパフォーマンスのサービスの成長に合わせた拡張が容易に行えるアイシロンのスケールアウトNASは、まさに「わたらせクラウド」にうってつけのストレージソリューションでした。

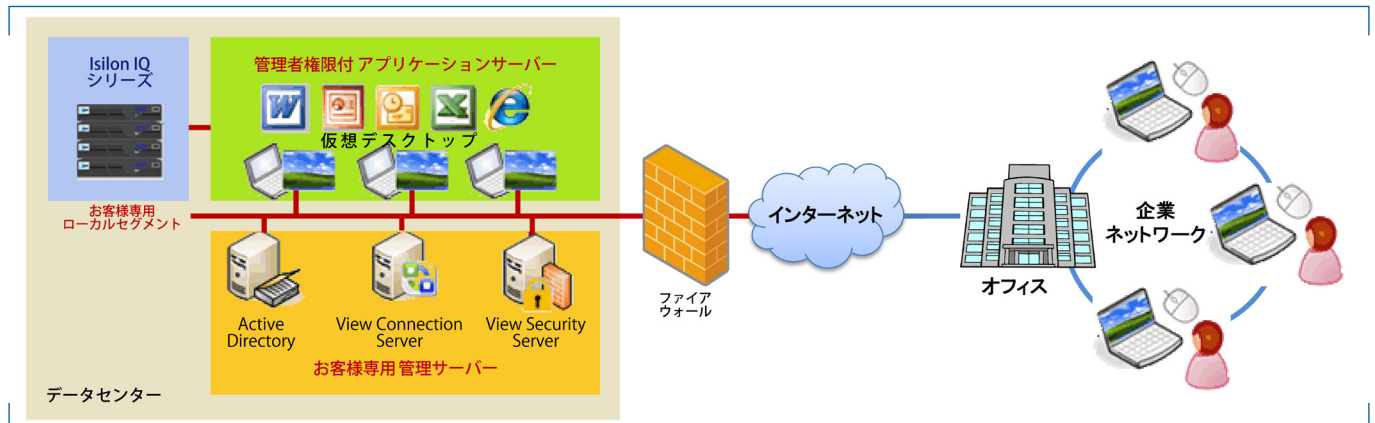
本格的なクラウドサービスを支える スケールアウトNAS「Isilon IQ」

現在、サンフィールド・インターネットの「わたらせクラウド」ではアイシロンのスケールアウトNAS「Isilon IQ 6000」を採用しています。「Isilon IQ 6000」は、スループットと比較して多くのストレージ容量を必要とする用途に向けた製品です。

谷藤氏は、「企業の情報部門の担当者は、クラウドサービスのハードウェアに、シスコ社やHP社の製品と同様に、アイシロンを使用していることで、信頼感と安心感を持つようです」と、打ち明けます。そして、「Isilon IQがあったからこそ運用コストを抑えることができ、端末数が数十から300程度の中堅・中小企業に対して、利用していただきやすいクラウドサービスの提供が実現できました」と続けます。

トラブルがなく、ストレージ増設後の再設定なども不要なアイシロンは、実質的にはメンテナンスフリーで運用することが可能です。常に最適なパフォーマンスを自動的に実現しているため、過剰な設備投資も不要になります。さらに「わたらせクラウド」では、アイシロンのシングルファイルシステムOneFSを採用することで、バックアップやデータマイグレーションなどの運用管理やメンテナンス作業の大幅な削減を実現しています。

サンフィールド・インターネットが提供する「わたらせクラウド」を通じて、アイシロンは仮想デスクトップの導入とクラウドサービスの早期活用をこれからも支え続けていきます。



開発元



アイシロン・システムズ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木1丁目ビル 12階
Tel : 03-5358-7188 (代表) Fax : 03-5333-4443
Email : contact-jp@isilon.com www.isilon.co.jp